

加西市の祭り



法華山一乗寺
三重塔(国宝)

ほっけさん いちじょうじ さんじゅうのとう こくほう
法華山一乗寺三重塔(国宝)

国指定重要無形民俗文化財

東光寺 田遊び・鬼会



鬼会

(加西市観光協会提供)



田遊び

「田遊び」では福太郎・福次郎・田主※1が稲の種をまき、育てるまでの動作を行って、穀物が豊かに実ることを祈ります。「鬼会」では赤鬼が松明を、青鬼が鉾を振りかざしてお堂の中を激しく暴れまわり、悪霊※2や災難※3を追いかけていきます。

※1 田主:田植えを指揮する人

※2 悪霊:人に害をあたえるもの

※3 災難:思いがけず身に降りかかってくる不幸な出来事

いつ：1月8日

どこで：加西市上万願寺町392



ほうじょう せっくまつ
北条節句祭り



屋台宮入



鶏合せ

(加西市観光協会提供)

じょうひん うつく いさ はる まつ ゆうめい ばん
上品で美しくそして勇ましい春の祭りとして有名で、播
しゅうさんだいまつ ひと かぞ やく ねんちか れきし でんとう
州三大祭りの一つに数えられ約900年近い歴史と伝統を
ひ つ とうざい き みこし じゅんこう りゅうおう
引き継いでいます。東西2基の神輿の巡行※1や龍王の
まい おこな すみよしじんじゃ おおとしじんじゃ だい ごうか
舞が行われ、住吉神社と大歳神社では、15台の豪華な
やたい いさ みやいり うらやす まい ほうのう
屋台の勇ましい宮入や浦安の舞が奉納されます。

ふつかめ よる じ ふる でんとう したが とりあわ
2日目の夜8時ごろには、古くからの伝統に従って鶏合
しんじ おこな かさいし してい ぶんかざい にんてい
せ神事※2などが行われ、加西市指定文化財に認定され
ています。

じゅんこうまつ ぎょうれつ じゅん まわ
※1 巡行:祭りの行列がコースを順に回ること

しんじ かみさま かん
※2 神事:神様に関するまつりごと

いつ : 4月 第1土・日曜日
どこで : 加西市北条町北条1318



ひよしじんじゃ あきまつ
日吉神社 秋祭り



神輿練り合わせ (加西市観光協会提供)

ふつう あきまつ ほうさく いの ひよしじんじゃ
普通の秋祭りは、豊作を祈るものですが、日吉神社で
かみがみ けっこん しゅっさん しめ き み
は神々の結婚から出産を示すものとされており、6基の神
こし ね ようす あき みの ゆた いなほ ようす
輿が練る様子は、秋の実り豊かな稲穂がゆれる様子を
あらわ とく ひよし あらみこし い いせい よ そうね
表し、特に“日吉の荒神輿”と言われる威勢の良い総練り
さん とき じんつう あらわ
は、お産の時の陣痛を表していると言われてます。また、こ
みこし しい えだは ちょうせい おそなえ そな ち ご
の神輿に椎の枝葉で調整した御供を供える稚児※1は、
いっしょうあんざん げんき く やくそく しん
一生安産・元気に暮らせることが約束されると信じられて
います。

ちご にゅうじょうじ
※1 稚児:乳児、幼児のこと

いつ : 10月 第2日曜日
どこで : 加西市池上町7



いそべじんじゃ あきまつ
石部神社 秋祭り



神輿練りだし (加西市観光協会提供) 門杉

2基の神輿と11基の子ども御輿が練り出し、稲穂が金色に実り垂れ下がるのどかな田園※1の中を、威勢のよい声が響きわたります。石部神社の境内では、加西市の伝統芸能の一つ石部太鼓が披露されます。

加西市指定文化財に認定されている巨大な門杉は、根回り約5m、高さ約30mの大木でしたが雷が落ちて傷んでしまい、平成24年に上部を取り除き、現在は高さ約25mになっています。

※1 田園:田や畑のこと

いつ：10月 第2日曜日
どこで：加西市上野町69-2



たかみねじんじゃ あきまつ
高峰神社 秋祭り



屋台練りだし (加西市観光協会提供)

畑東、畑西、窪田、西谷東、西谷西から個性豊かな5台の屋台が練りだし、屋台の宮入後は、美しい浦安の舞や奉納相撲などが行われます。

畑町の山中にある高さ4m、周囲6.6mもある巨岩「ゆるぎ岩」(加西市指定文化財)は、その昔、法道仙人※1が「善人が押せば動き、悪人が押してもびくともしない。動かない時は自分に邪心※2があるから、罪悪を懺悔※3して正直慈善の人に立ち返りなさい」と人の心を試させたと言い伝えが残っています。

- ※1 法道仙人:6~7世紀ごろ日本へ渡ってきたとされるインドの仙人
- ※2 邪心:よくないことをしようとする心
- ※3 懺悔:やってしまったことを反省して二度としないこと

いつ：10月 第2日曜日
どこで：加西市畑町1062

